



かな 感動を奏でる“てんてん祭り”

てんてん祭り実行委員会 委員長
小島 誠生

平成26年10月11日土曜日、第9回共和病院文化祭 てんてん祭り2014を無事開催することが出来ました。院内の各部署から委員が選任され、実行委員会が立ち上がったのが今年の5月15日でした。まず初めに今回の企画の基本路線となるテーマを検討した結果「奏でる」に決定！このテーマには「地域、病院、患者様、職員、全てが一体となって最適なハーモニーを奏でよう！」という気持ちが込められています。通常業務の合間を縫って検討を重ね、あっという間に当日。出演・ご来場と様々な形で地域の多くの皆様にご協力をいただき、患者様、職員も一緒になってお祭りを作り上げることが出来たのではないかと感じています（詳細は次項をご覧ください）。

さて、てんてん祭りの目的は、地域への精神科医療の啓発、患者様への楽しみの提供、などがありますが、それらに加えて私が当日会場で感じたことは「感動を共有する」ということでした。人は感動することによって、新たな希望を持てるようになったり、視野を広げること

が出来るようになったり、また対人関係においても相手に対して受容的になれるそうです。これらの効果は私どもが普段から実践させていただいている精神科医療分野の支援にも通ずるところがあるように思いました。てんてん祭りが皆様にとって少しでも感動を共有できる機会になったのなら幸いです。

ご来場者アンケートでは、「毎年楽しみにしています。」「アットホームな雰囲気です笑顔もたくさんで、とても活気があり楽しかったです。」「今後も続けて下さい。」という感想をいただくことができました。

私自身は、当院が地域の社会資源としてこれまで以上に皆様に親しんでいただける医療機関となれるよう、また「優しい医療・楽しい職場」という当院の理念を実践する場として、これからも様々な取り組みに努めて参りたいと思っています。

最後になりましたが、この場をお借りしてご協力いただいたすべての皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

さまざまな奏でる



毎年天候が心配されるこの季節ですが、今年は台風18号と19号に挟まれ、奇跡的に日差しにも恵まれた暑い一日となりました。初の試みとなる野外ステージにてオープニングセレモニーが開催され、安藤院長のあいさつの後、様々なイベントが行われました。シンガーソングライターいづみさん、謎のゆるキャラ いもメン、ブレイクダンスグループに出演して頂き、当院職員によるバンド演奏では、病棟スタッフや患者様、クラウンチョコさんが熱唱、それぞれが衣装やマジックなど趣向を凝らし、会場は大いに盛り上がりました。

模擬店は、焼きそばや焼き鳥、団子や唐揚げ等メニューも盛りだくさんで、地域からもカレーやオーガニック野菜、パンやお菓子など多くの方々が出店して下さいました。各模擬店の前には列ができ、午前中に完売するものもある盛況ぶりでした。その他の企画も盛りだくさんで、病院ならではの健康チェックやキッズコーナー、作品展示等、会場全体が多くの人で賑わいました。また、今年のチャリティーバザーは山本副理事長の発案により、ケニアの民芸品もあわせて販売、収益金はケニアにおけるエイズと無料医療活動へ全額寄付することとなりました。

毎年恒例、C館4階ホールのステージでは、バルーンパフォーマーのマスさんや職員によるバンド演奏、ダンスや今年流行した映像をパロディにした映像作品など、驚き、

そして笑いあひのひとときを来場者の皆様とともに共有することができました。

「奏でる」がテーマの今年のでんてん祭り。大勢の方々楽しい気持ちを持ち寄って、一つの音楽を奏でているような、そんな素敵な一日となりました。ご来場された方々、地域の方々、並びにご協力を頂いた多くの方々に深く感謝致します。ありがとうございました。

てんてん祭り実行委員会

ご来場者の中には、愛知県議会議員の深谷勝彦さんや大府市議会議員の酒井真二さんもいらっしゃいました。ありがとうございました。

今年も獅子舞がきてくれたよ！

10月12日(日)は、当院が属する横根地区のお祭りでした。今年も子ども会のみなさんに獅子舞を披露していただき、楽しいひとときでした。来年も楽しみです。



デイサービスセンター ゆずの里

「1日の利用定員を15名に変更」

日頃のご支援、ご協力有難うございます。開所2年目になり、ご利用者の皆様に馴染みの空間としてご利用いただけるようになってきたのではないかと感じています。ご利用の希望も順調に増えて、定員の10名を越えてしまう日も出てくる状況になりました。ゆずの里は15人まで受け入れるように広く設計されていますので、9月より、定員を15名に変更させて頂きました。

今年度はレクリエーションの内容も一層充実させるため、「野菜作り」「絵手紙教室」「たんぼぼ保育所交流会」などの新しいプログラムを追加しました。また、経大亭勝笑演芸一座（落語・漫談）、ひまわりの会（踊り・マジックショー）の皆さんにご協力いただき、楽しい時間をお過ごしいただけるように計画を進めております。

ご利用者同士がいつの間にか馴染みの友になり、「ここに来るのが一番いい。友達ができて楽しい。」お帰りには「またね～」とお互い手を振っておられる姿を拝見し、こちらが元気をいただいています。



野菜作り

今後も「心地よいおもてなし」の気持ち忘れず、ご利用者様お一人おひとりにご満足いただけるようにスタッフ一同サービスを提供させていただきたいと思っております。



絵手紙教室

管理者 星屋 なつみ

こころの健康フェスティバル

平成26年9月27日(土)大府市役所多目的ホール他において、平成26年度知多半島地域こころの健康フェスティバルが開催されました。今回で15回目を数えるこのイベントは、毎年、知多半島内のいずれかの市町で開催されてきましたが、大府市では平成18年11月以来の開催となりました。

以前はスポーツ交流会と講演会というプログラムで開催されてきましたが、この数年は当事者交流会と講演会の組み合わせで開催されています。今回も午前中に当事者交流会が行われましたが、当事者の方が進行役を務め、事前に集めた「思いカード」に書かれた、様々な方の想いを題材に、活発な意見交換が行われていました。

セレモニーを挟んで午後の部は、慶應義塾大学医学部しらほせの白波瀬丈一郎先生により、「居場所になじめない人たち～学校や職場での不応について～」と題した講演が行われました。単に「不応」の解説や支援について語られるのではなく、居場所になじめない人の周囲にいる人たちに向けた、メッセージになっていたように思います。さらに講演に続いては、「学校」と「就労支援」の現場で活躍

されている、中京大学心理学部みょうがんの明翫光宜先生と、だれでも就労支援センター@千種の山本茜さんによるシンポジウムが行われました。お二人ともに、現場での関わりや支援に基づくお話でしたが、「自己肯定感」や「認められる」という体験の重要性など、示唆に富んだ、考える材料の多いお話でした。

医療福祉課 河村 勝浩



しらほせ
白波瀬丈一郎先生の講演



当事者交流会での意見交換

編集後記



広報誌WA!も2000年の初号から15年続き、60号を迎えました。今回紹介させていただいている「てんてん祭り」も9回目。回を重ねるごとにパワーアップしている様が、今までの広報誌からも確認できます。あの記事がもう一度読みたい!と思われた方は、ぜひ

当院のホームページをご覧ください。すべて読むことができます。印刷物としても全号が在庫してありますので、当院の受付でおしゃっただけければ、すぐお渡しできます。今後ともご支援をよろしくお願ひいたします。

広報誌委員会 丸山 浩史

われらイクメン

当院の院内保育所において、現在 保育士10名、園児25名が在籍していますが、今回その中でイクメン(育児に積極に取り組み、自らも成長する男性)の院内保育を通じ、奮闘ぶりを紹介します。



★子供の成長は驚くほど早く、たんぼぼを利用してから約1年半が経ちました。利用当初は男性が保育所へ出入りする事を照れ臭く感じていました。しかし、同じように保育所へ行く男性スタッフがいるため、今では堂々と入室できるようになりました。また、子供の成長と同様に自分の体力の衰えも驚くほど早く感じ、子供に負けないようにと感じる今日この頃です。

(リハビリテーション部:伊奈 克昌)

★夫婦共働きの為、長男が1歳になる前から院内保育所に預けています。一緒に出勤して、すぐに迎えに行くことが出来る環境はなによりも安心感があります。保育士の方もとても優しく、車の中で今日の仕事(セミ取りなど)の予定を嬉しそうに話す息子を見て、「自分も頑張ってるぞ!」と思う毎日です。

(看護部:丹羽 俊樹)

★長男(2歳)を預けています。職場に託児所があるだけで大変ありがたいですが、保育士さんは皆優しく、長男も楽しかったといつも話をしてくれています。嫌いな野菜も保育所では食べているようで親としてはとても助かっており、妻も安心して働くことが出来ます。

(看護部:田中 充)

★私の子供が当院の保育所にお世話になるようになって約2年半経ち、現在2人の子供が在籍しています。初めは男親しか当院で働いていないのに子供を預けている方はほとんどいませんでしたが、最近では男親が預けている方が増えてきて心強いです。

また、子供が熱を出して帰ったり、休んだりすることがありますが、部署のスタッフは嫌な顔をせず協力してくれます。子供の成長が身近に感じられるたんぼぼは私にとってとてもありがたい存在です。

(リハビリテーション部:矢野 嘉胤)

臨時保育実施中!

暴風警報の発令などで幼稚園や小学校が休校になったとき、当院では臨時保育を行なっています。

これによって職員の突然の休みが少なくなり、業務がスムーズに行えます。

保育園児から小学6年生までお預かりしていますので年齢も様々ですが、子供たちは元気に遊んで過ごしています。



お知らせ

- 12月20日(土) 第16回 共和病院 地域医療フォーラムを開催します。場所/大府市役所
- 12月27日(土)~1月4日(日) 年末年始により外来診療を休診させていただきます。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることが出来ます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>